

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年4月5日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年4月5日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【敷地境界モニタリングポストNo.7近くの連続ダストモニタ(B)の「機器故障」警報発生について】 敷地境界モニタリングポストNo.7近くの連続ダストモニタ(B)に「機器故障」警報が発生したため、現場確認後、警報を復帰。 その後、同警報が再度発生し、自動復帰した。 なお、当該ダストモニタの測定は警報発生中も継続しており、監視に影響はなし。また、連続ダストモニタ(A)は正常運転中。 念のため、当該連続ダストモニタを予備機に交換した。</p>	GⅢ	4月1日
2	<p>【5号機換気空調系常用空気冷却器(A)の現場盤の腐食について】 5号機換気空調系常用空気冷却器(A)の屋外現場盤の天板に腐食による穴を確認。 当該冷却器の運転には影響なし。なお、応急処置として、シートによる養生を実施。 当該部を修理予定。</p>	GⅢ	4月2日